

ダイフク環境ビジョン 2050



DAIFUKU

Always an Edge Ahead

One-Daifuku Zero

マテリアルハンドリングシステムが環境負荷ゼロで動く世界を目指す

気候変動・エネルギー

脱炭素社会の実現に向けて、最適・最良の製品・サービスを通じて、お客さまに環境貢献します。

主要サプライヤーを含む生産段階での使用エネルギーを再生可能エネルギー100%にします。

資源循環

循環型社会の実現に向けて、最適・最良の製品・サービスを通じて、お客さまに環境貢献します。

製品の長寿命化に加え、提供する製品および生産拠点から排出される埋立廃棄物をゼロにします。

2050

2030年の重点領域

気候変動・エネルギー 対策の加速

製品稼働におけるエネルギー削減やサプライヤーとの連携により、バリューチェーンでのCO₂削減に取り組みます。

グループ全体での省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入により、パリ協定に準じたCO₂削減に取り組みます。

資源循環の促進に向けた 基盤整備

ライフサイクルを通じた資源循環を進めるため、製品のリサイクル可能率を高めます。

すべての生産拠点において資源循環の仕組みを構築します。

2030

現在

2030年の目標

重点領域	2030年の目標
気候変動・エネルギー	環境貢献物件 ^{※1} 売上高比率70%以上
	CO ₂ 削減貢献量 ^{※2} 累計30万トン以上
	自社CO ₂ 排出総量削減25%以上(2018年度比)
	サプライチェーンCO ₂ 削減プログラム参加企業率50%以上
資源循環	新製品のリサイクル可能率90%以上
	グローバル生産拠点での資源循環 ^{※3}

※1 当社エコプロダクツ製品などを通じて、お客さまに納入したシステムで環境面から貢献したものの。

※2 お客さまに納入した製品・サービスから排出されるCO₂排出量を、基準年度である2011年時点の製品・サービスによるCO₂排出量から差し引いたもの。

※3 生産拠点における資源循環の実態を把握した上で目標を設定し、2022年4月に開示します。